

東部地区図書館の早期整備に関する市民アピール

私たちは、今日東部地区に基幹となる10万冊規模の地区図書館が早急に建設整備されることを願い、ここに集まりました。昨年7月14日に、東公民館で講演会を持ち、図書館について学びましたが、今回の学習会で、私たちの生活の身近に市立図書館がほしいという願いをより一層強くしています。

私たちは、様々な情報が氾濫する社会の中で生活しており、一人一人抱える課題は異なります。図書館という施設は、幅広く収集された情報によって、地域に住む私たち一人一人が抱える課題の解決に役立ちます。また、赤ちゃんから高齢者まで幅広い世代が集まることができる図書館は、交流の場となり、その地域の共通の「必要」や「課題」を見つけることができる場でもあります。

図書館は地域の中核施設となって、地域の歴史を伝えていくとともに、さらに豊かな地域として発展していくためにも必要な空間であると、今回の学習会で学びました。

岡山市は、平成14年に「岡山市図書館整備実施計画」を改定後、平成22年に西大寺緑花公園緑の図書室がオープンしました。東部の地区図書館は用地取得後、進展はなく、政令市岡山の約14万人の人が暮らす中区には図書館がまだありません。図書館は、暮らしの身近にあって、地域に暮らす私たちとともに成長してこそ、この地域の地区図書館となりうるのです。県立図書館や公民館の情報コーナーだけではなしえない、重要なことです。

私たちは、私たちの生活にとって図書館が必要なものであると改めて確認しました。そして、ここに岡山市民として、地域のため、住民みんなのため、そして将来の子どもたちのために、図書館の充実を求めます。岡山市に対して、早期に東部地区の基幹地区図書館の整備を積極的に推進することを要望します。

そして、私たちは図書館を望む多くの市民へ呼びかけ、力を合わせて図書館整備を図っていくことをここに表明し、多くの方の賛同と参加を呼びかけます。

2012年8月26日

第2回『みんなで考えよう岡山市の図書館』参加者有志